



修学旅行スローガン!(5月18日~5月20日)

~和気藹々(わきあいあい)~

和歌山の地で 穏やかな**気**持ちで 自然に触れながら 楽しみ、学ぶ

和歌山の魅力を知れば、日本の魅力もわかるかも…?

- ・数々の世界遺産に触れ、自然の偉大さや日本文化のすばらしさを学び尊重する
- ・国際協調の重要性や、日本が結んできた国家間の友好関係について学ぶ
そして…

・世界平和に向けて主体的に行動しよう!!

来週の修学旅行に向けて、3年生は準備を進めています。自分たちで作成した上記のようなスローガンを掲げ、大切な3日間の学習を仲間とともに、感染症対策を十分に行いながら、取り組んでいきます。

先日、文部科学大臣から子どもたちに向けてのメッセージが出されました。裏面に掲載します。

また、1年前にコロナによる休校からの学校再開(再会)にあたって、「やさしさ」という題で、学校ホームページに以下のような記事を掲載しました。再度掲載しておきます。

最近、「やさしさ」を感じる出来事がたくさんあります。

医療に携わっている人に対して…

営業ができない人に対して…

作物が売れず、困っている農家の人に対して…

その反面…

誰も自分が大切です。でも、この時期だから、周りの人に「やさしさ」のシャワーをかけてあげては…

自分の持っている力の、ほんの数%でも!

その力が集まれば、大きな力になりますよ!

これぞワクチン!

「嫌悪・偏見・差別」~これも感染症

「不安や恐れ」は人間の生き延びようとする本能を刺激することから、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人と人との信頼関係や社会のつながりを壊したいしてしまいます。

嫌悪の対象を偏見や差別で遠ざけることで得られる安心感は本当の敵を見えなくしてしまいます。

差別や偏見は、特定の人、地域、職業などに対して「危険」「バイ菌」といったレッテルを貼る心理によって生まれます。



文部科学省

児童生徒や学生等のみなさんへ

現在、新型コロナウイルス感染症が広がる中で、皆さんの中には不安を抱えている人がいるかもしれません。新学期の始まり、春休みやゴールデンウィークの終わりなど、不安や悩みを抱えていても、決して一人ではありません。ご家族、先生、周りの友達、誰にでもいいから悩みを話してほしい。私をはじめ、周りの大人は皆さんの味方です。

文部科学省では、24時間子供SOSダイヤルから電話相談を受け付けており、各地域にも電話やSNSなどで相談できる窓口、また、各大学等にも相談窓口があります。周囲に相談しづらいときは、ぜひ利用してみてください。

「君は君のままでいい」
(相談窓口PR動画)



<https://www.tokai.go.jp/Civ/35v2361>



子供のSOSダイヤル等の相談窓口



https://www.tokai.go.jp/k_gentei/about/sos_dial/0120078310.htm

令和三年五月
文部科学大臣 萩生田 光一